

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ニシダシン株式会社岸和田工場	階数	地上2F
建設地	大阪府岸和田市丘陵土地区画整理	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	6人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,900時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年11月 予定	評価の実施日	2020年4月9日
敷地面積	3,819㎡	作成者	前田 好仁
建築面積	2,227㎡	確認日	2020年4月10日
延床面積	2,149㎡	確認者	唐妻 敏之



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 0.0</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>岸和田市に計画される工場の計画である。建物利用者の快適性に配慮しつつ、省エネ、省資源に配慮した計画としている。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>評価対象外</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数の長い外装、内装、配管材料を採用し建物の維持管理に配慮している。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>外構緑化に積極的に取り組んでいる。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>評価対象外</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水機器や再利用可能部材を使用し省資源に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-0005

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)ニシダシン株式会社岸和田丘陵建屋					
		建設地	大阪府岸和田市丘陵土地区画整理事業					
		用途/区分	工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価				B+		
①	CO2削減				評価対象外			
②	みどり・ヒート アイランド対策				3			
③	建物の断熱性				評価対象外			
④	エネルギー削減				評価対象外			
⑤	自然エネルギー直接利用				—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					-	
② みどり・ヒートアイランド対策							3	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
		温熱環境悪化の改善				CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					-	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								